

令和 7 年度 荒茅福祉会(荒茅保育園・荒茅学童クラブ)自己評価

～ 社会福祉法人 共通評価基準 ～

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価A=目標を達成できた。大変良かった。
B=目標をある程度達成できた。概ね良かった。
C=目標を達成できなかった。改善を要する。

年	反省・改善点など
A	度初めの職員会で園長からめあてや方針等を職員へ周知した。また事務室に保育方針を掲示している。
A	
B	
B	
A	
A	
A	
A	
A	
A	

II 組織の運営管理

10	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して説明し理解を図っているか	A	反省・改善点など 園長の指導の下、園内研修では保育の質向上のための公開保育や研修会を行った。また、園外の研修や公開保育、キャリアアップ研修へ計画的に参加できるようにした。
11	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているか	A	
12	保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮しているか	A	
13	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮しているか	A	
14	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されているか	A	労働基準監督署の指導により職員へ健康指導教室を行った。
15	総合的な人事管理が行われているか	B	
16	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいるか	A	
17	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っているか	A	
18	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されているか	A	
19	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されているか	A	
20	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしているか	B	
21	運営の透明性を確保するための情報公開が行われているか	A	
22	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか	A	
23	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っているか	A	
24	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立しているか	B	
25	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われているか	A	
26	保育所が有する機能を地域に還元しているか	A	
27	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われているか	A	

III 適切な福祉サービスの実施

28	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っているか	A	反省・改善点など
29	子どものプライバシー・保護等の権利擁護に配慮した保育が行われているか	A	各種マニュアルについては、職員必読籍にまとめ職員全員が目を通すことができるようにした。
30	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供しているか	A	
31	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明しているか	B	小児の事故ヒヤリハットについて職員会で報告するようにしているが、未然に防ぐための研修や話し合い等に意識を向けるとより良いと感じる。
32	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っているか	A	
33	利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っているか	A	
34	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能しているか	A	
35	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知しているか	A	
36	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応しているか	A	
37	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されているか	B	
38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っているか	A	
39	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に進めているか	A	
40	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されているか	A	
41	標準的な実施方法について見直しをすすめる仕組みが確立しているか	A	
42	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定しているか	A	
43	定期的に指導計画の評価・見直しを行っているか	A	
44	子どもに関する保育の実施状況の配感が適切に行われ、職員間で共有化している。	A	
45	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A	

～ 内容評価基準～ A-1 保育内容

1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を構成しているか	A	反省・改善点など 食物アレルギーがある子は、かかりつけ医師の診断書に基づき個別対応している。給食担当者と保育士が連携をもちながら園々に応じ対応することで美味しく楽しく食べることができるようになっている。
2	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているか	A	
3	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているか	A	
4	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境を整備し、援助を行っているか	A	
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているか	A	園児の健康管理について、当園前の夜と当日の朝の体温を保護者から連絡してもらい、発熱後の様子を保育士が視診している。熱性けいれん等の既往症がある園児は保護者と面談し個々に合った対応をしている。
6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
10	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	B	
11	小学校との連携、就学を促した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わり方に配慮しているか	A	
12	子どもの健康管理を適切に行っているか	B	
13	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映しているか	A	
14	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っているか	A	
15	食事を楽しむことができるよう工夫しているか	A	
16	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているか	A	

A-2 子育て支援

17	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A	反省・改善点など 必要に応じて保護者との面談を行っている。
18	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	A	
19	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A	権利侵害の疑い等がある場合は関係諸機関と連絡を取り合っている。
20	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A	